

業 務 概 要 書

◆業務名：令和3年度 那覇港臨港道路渋滞対策調査業務委託

◆業務場所：那覇港新港ふ頭地区

◆業務期間：契約締結日の翌日～令和4年3月29日まで

1. 業務の目的

現在、那覇港管理組合等では、急増するクルーズ船寄港回数及び大型化するクルーズ船に対応するため、新港ふ頭地区において、クルーズ船用バース等を整備中である。

本業務は、当該バースの供用開始後に想定されるクルーズ旅客関連車両（観光バス・タクシー等）による臨港道路の交通混雑への対策等を検討するものである。

2. 業務の内容

(1) 計画準備

業務の趣旨を踏まえ、業務実施方針、工程計画等を立案し、業務計画書の作成を行うものとする。

(2) 交通量推計

第2クルーズ船ターミナル完成年度および現況観測年度の交通量推計を行い、現況再現およびマイクロシミュレーションで使用するOD表の作成を行う。なお、交通量推計で使用するOD表については、H27ベースの現況および将来ODを使用する。

【項目】各2ケース

- ・道路ネットワーク修正
- ・交通量推計

(3) 交通量調査

曙交差点の渋滞緩和の可能性に資することを目的として、曙交差点に信号機を集約させるために、中央分離帯を設置する社会実験を新港ふ頭横2号線×港湾2号線交差点（※別添参照）で行う予定としており、当該交差点における交通量調査を行う。交通量調査については、社会実験前後の2回（7：00～19：00 12時間）行うものとする。

※なお、マイクロシミュレーションの結果によっては、社会実験の位置を変更する可能性もある。

(4) ミクロシミュレーション

交通量推計結果から得られる交差点方向別交通量および OD 等を使用しミクロシミュレーションを実施し、那覇港臨港道路等の渋滞対策案（社会実験（案）の検討を含めた）の効果分析を行う。

【項目】

- ・ OD 作成
- ・ ネットワーク作成
- ・ ミクロシミュレーション実施
- ・ 対策案（社会実験（案）を含む）の実施
- ・ 交差点改良における分析

(5) 社会実験後の効果検証

(4)ミクロシミュレーション等によって検討した社会実験（案）の実施による臨港道路等の対策効果を検証する。

(6) 関係機関等との協議

渋滞対策案（社会実験（案）の検討を含めた）等について、トラック協会等の那覇港臨港道路利用者等の関係機関協議（資料作成も含む）を行う。

(7) 打合せ協議

本業務を進めるにあたり打合せ協議（着手時、中間2回、完了時）を行うものとする。

(8) 成果品の作成

本業務の報告書を取りまとめる。



【参考】業務位置等について



